

— セント・ルカ産婦人科 —

ルカ新聞

 No.5
2002.7.


久住山とミヤマキリシマ：扇ヶ鼻より

向日葵

幸い（マタイによる福音書5章3節―10節）
心の貧しい人は、幸いである。

天の国はその人たちのものである。

悲しむ人々は、幸いである。

その人たちは慰められる。

柔和な人々は、幸いである。

その人たちは地を受け継ぐ。

義に飢え渴く人々は、幸いである。

その人たちは満たされる。

憐れみ深い人々は、幸いである。

その人たちは憐れみを受ける。

心の清い人々は、幸いである。

その人たちは神を見る。

平和を実現する人々は、幸いである。

その人たちは神の子と呼ばれる。

義のために迫害される人々は、幸いである。

天の国はその人たちのものである。

これはエルサレムからガリラヤ湖に向かってゆく途中の小高い山の頂で、イエス様が集まってきた群集に向かってお話をされたときのお言葉です。エルサレムから南の死海周辺は荒涼とした砂漠地帯ですが、北の方面は緑豊かな穏やかな風景が広がっています。豊かな環境の中であっても当時からこのお言葉に見られるようにさまざまに苦しみや悩みを背負った人々がたくさん存在したのでしょう。今も昔もまったく変わりはありません。

それにしてもこのお言葉を読むと本当に心が休まるのはどうしてでしょうか。それは今、悩み、苦しんでいる人々も、また、何かに向かって苦勞しながら格闘している人々も、最終的には「幸いと平和」が約束されていることを示しているからと思われれます。私たちが考えている「幸福」と神様が考えておられるその人の本当の「幸い」とは異なることがあります。静かな心でこの山上のお言葉を読みたいと思います。

2002年6月3日で開院10周年がすぎました。

10年を振り返って

山の緑も濃くなり田植えの季節になりました。

大分に初の不妊専門クリニックとして開院し今年、6月3日で10周年を迎えました。

開院当初はスタッフ8名からスタートし院長の指導にて看護部、研究部と専門の病院に出かけ基礎から実践し勉強して参りました。不妊分野は始めて学ぶ事ばかりで大変でしたが学ぶ事が喜びさえ感じた事を思い出します。それからの10年は技術や知識を基に日本不妊学会、世界不妊学会にまで研究発表と院長スタッフ一同日々頑張っております。

先日、セントルカ10周年記念の日大変嬉しいことがありました。当院を卒業されお母さんになられた患者さん達で作上げた文集が院長に手渡されました。仕事と家庭、通院を両立しながら頑張られたお話などなどを文集にされ、1冊の本にしています。(クローバー) 待合室、病室においています。

私たち、医療スタッフも文集の中味に感動し、涙しました。こんな思いで治療を続けられてる患者さんの気持ちにどう対処してあげられるものかと胸が痛い思いでいっぱいです。

文集を通じて私たち医療スタッフも色々な立場から少しでも手助けになる様に努力していきたいと思っております。

今では赤ちゃんがほしい講座、初診時オリエンテーション、IVF教室、IVFの話、ET後の話、なんでも相談、ガーネットサークル、オリーブの会(40才以上の方)手術後の話、心理カウンセラー(心理部)院長との相談日を設け患者さんのお役にと思っています。悩んでないで、すぐに声かけしていただければうれしいです、私たちスタッフ一同はいつでも待っています。

P.S

文集を作成していただいた皆様にお礼申し上げます、文集を通じて少しでも心の支えになればと思っております。

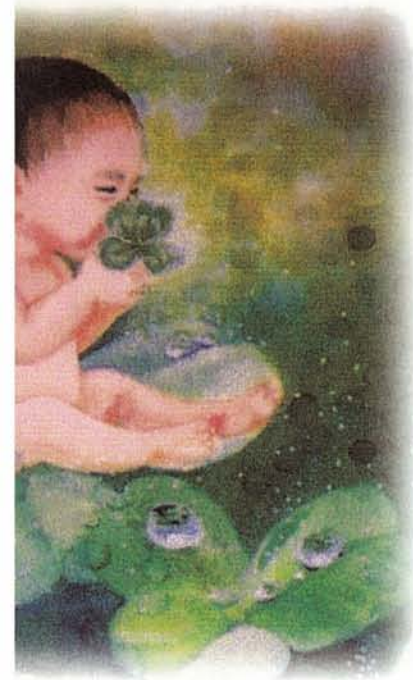
セント・ルカ スタッフ一同



(「クローバーの会」から院長へ、記念絵画を贈る 2002年6月8日)

セント・ルカに送る文集 クローバー ～治療中の方へのメッセージ～

6月3日文集クローバーを持ってこられた方々と院長スタッフでミニ懇親会を行いました。それに参加された方々からのメッセージです。文面の都合にて一部のみ記載させていただきます。



毎日、多忙な宇津宮先生、今日もお待ちしました。(笑)

でも私達のために、いつも走り続けて下さってるので、少々の待ち時間は、許しちゃおう!

クローバーの初会合に出席し、やっぱり仲間っていいなあ…気取らずに何でも話せて心が楽でした。(いつもは鎧をつけてるからなあ…)

心の許せる仲間と話せる時間をつくって下さったのはやっぱり宇津宮先生!あなたでした。感謝せねば…。

●個人的なことを一言

ウィーンにいかれるのですネ。私の治療はどうなるの? (間に合わんやん…)

ウィーンの地でも私達の事、もちろん思い出して下さいね。

●先生、スタッフの皆さん

心あたたまるおもてなし、ありがとうございました。

そして準備して下さいました皆さんにもありがとう!クローバーの会にたずさわる事ができて本当によかった!また頑張れるヨ。

(Kさん)

いろいろな方の意見、感想が聞けて、私自身
すごく励みになりました。

また明日から一歩ずつ踏み出し、勇気を出
して前へ行けそうな気持ちがあります。

(Mさん)

今日の日にかうやって自分がここに居られ
ることが、とても嬉しいですし幸せな気分です。

これからも私の、そして皆さんの心のオア
シスであってほしいです。感謝をこめて。

(Nさん)

自分だけ…と悩んだけど、いろいろな人の
話がきけてよかったです。これからも私にで
きることなら手伝いたいと思います。

(Tさん)

セント・ルカ産婦人科と出会った事で、高
度な治療を受ける事ができ、優しいスタッフ
の方々に支えていただき、励ましあえる友人
達にめぐり合うことができ、辛く悲しい経験
を乗り越えられたからこそ今の幸せがあるの
だと再確認しました。

(Kさん)

文集クローバーをさっそく外来や各病室に配置しました。

『日本不妊学会春季九州支部会』が2002年4月21日に福岡で行われ、研究室からは2題の発表を行いました。今回は、その内容をご紹介します。

FISH法を用いた異常受精卵の染色体解析

研究室 佐藤 晶子

体外受精では、通常、母方の核（遺伝子）と父方の核（遺伝子）の2個の核の確認をもって受精とみなされます（写真1参照）が、数%の確率で1個もしくは3個の核が見られる場合があります。このような卵は異常受精とみなして基本的に子宮への胚移植はおこなわれていません。

しかし、1個核が確認された卵については、その核が大きい場合（写真2参照）染色体解析をおこなうと2個の核がすでに融合して1個に見える可能性、つまり正常受精している可能性があるのではないかと考えられ、現在検討しているところです。

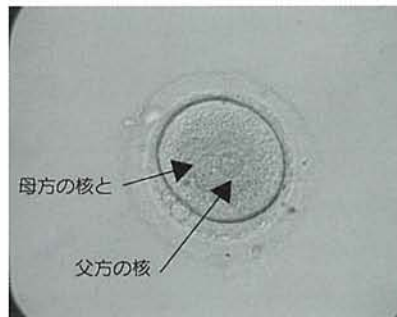


写真1

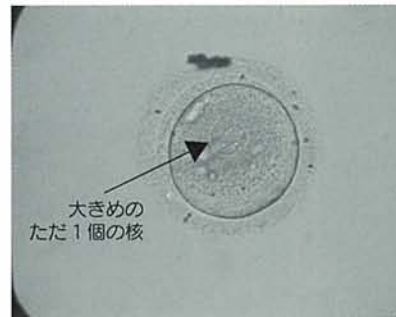


写真2

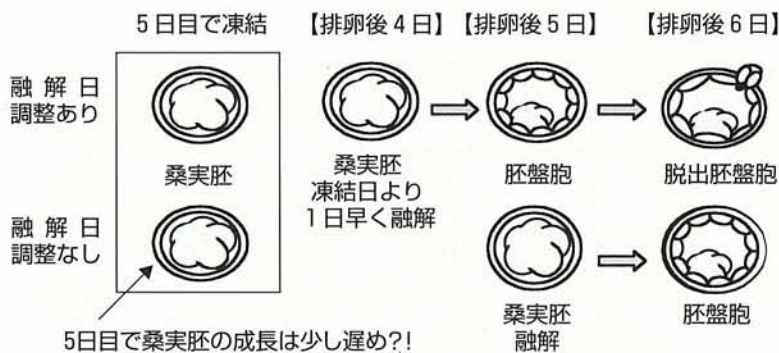


Implantation window を考慮した Vitrification 凍結融解法の検討

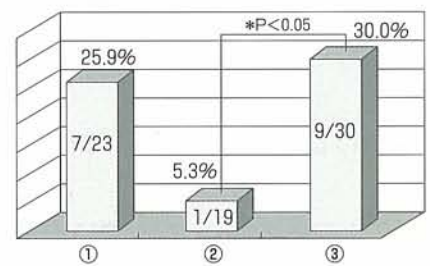
検査部 平井 香里

体外受精において良好な卵を移植しても妊娠に至らないというケースがあります。いくつか原因は考えられますが、今回は体外培養での卵の成長と卵を移植する患者さんの子宮内膜の成長が合っていないのではないかとこのことを考え検討しました。

採卵後4～7日まで体外培養を行い凍結した（Vitrification凍結）卵のうち、子宮内膜の成長より発育が遅れている卵に対して融解を凍結日より1～2日早く行い、子宮内膜の卵が着床可能と思われる期間（implantation window）に着床可能と思われる卵が移植できるよう融解日の調整を行いました。



《妊娠率》
①卵と内膜成長の同期性あり-融解日調整なし
②卵と内膜成長の同期性なし-融解日調整なし
③卵と内膜成長の同期性あり-融解日調整あり



右上に示すグラフは卵を移植する時の子宮内膜が7mm以上の周期における妊娠率を示しています。グラフから卵と子宮内膜成長の同期性は大切であることが考えられます。しかし発育が遅れていた卵でも融解日を調整し、同期性をもたせることで妊娠率は高くなるのが推測できます。後々も追加検討を行い妊娠率向上のため検討していこうと考えております。

NEW職員紹介



看護部 中野 栄子

3月に就職して3ヶ月が過ぎました。産婦人科は初めてで、新しい分野なので毎日が勉強です。これから頑張っていくと思います。よろしくお願い致します。



情報処理室 油布亜紀子

まだまだ“ひよっこ”でわからないことばかりですが、毎日の発見を積み重ね、少しでも早く仕事を覚えて、夢を持って来院される方々の助けになることができれば、と思っています。よろしくお願いします。



こんにちは。ワールドカップも終わりました。なんだか淋しい気持ちのMです。

受付のお仕事の1つにお庭や待合室のお花のお世話があります。これがまた大変なんです!!!

お花の名前もよくわからない私たちなのですが、朝から水をた一つぶりあげ、枯れたお花をとってまわり、時には毛虫くんが現れ、びーびーわめきながらも戦い・・・と

できないながらも一生懸命頑張っています。

そんな私たちのお花を見て、楽しんでください。(M)

みなさん、こんにちわ!

今回は、受付よりお礼とお礼があります。

毎月、毎月受付から皆さんに「保険証お願いします。」と、お願いし続けてきました。

今では患者さん皆さんが、毎月初めに保険証を見せてくださる様になり、レセプトの戻りも少なくなりました。ご協力ありがとうございます。

次のお願いがあります。

院長の学会で急に休診になったり、緊急手術の為診察時間が変更する事があります。その時はこちらからご連絡する訳ですが(もちろん病院名は出しません!)電話番号が変更されていて、連絡がつかない事があります。IVFで連絡がつかないと大変な事になりますので、住所、電話番号、携帯番号が変更された方は、必ず受付までお知らせ下さい。よろしくお願いします。

この夏も受付3人、暑さを乗り切ってがんばります!! (K)

心理専門相談室だより

相談室を訪れた患者さん方の悩みの現状と ケアのあり方—心理相談室より

当院では、昨年4月より患者さんの心理的な悩みやいろいろなご相談をお受けする心理相談室を開設しています。

開設より一年近くが経ったところで、患者さん方がどのような悩みを抱えて相談室を訪ねてくださったのかをまとめてみました。

本当にいろいろな悩みを抱えて治療にがんばっていらっしゃる方々がたくさんおられます。こんなことで悩んでいるのは自分だけかもしれないと思っている方もおられるかもしれませんが、そんなことはありません。どんなささいな悩みでも本当に気になってしかたがないことがあるものです。どうぞ1人で抱え込まないで気軽に相談室をご利用ください。

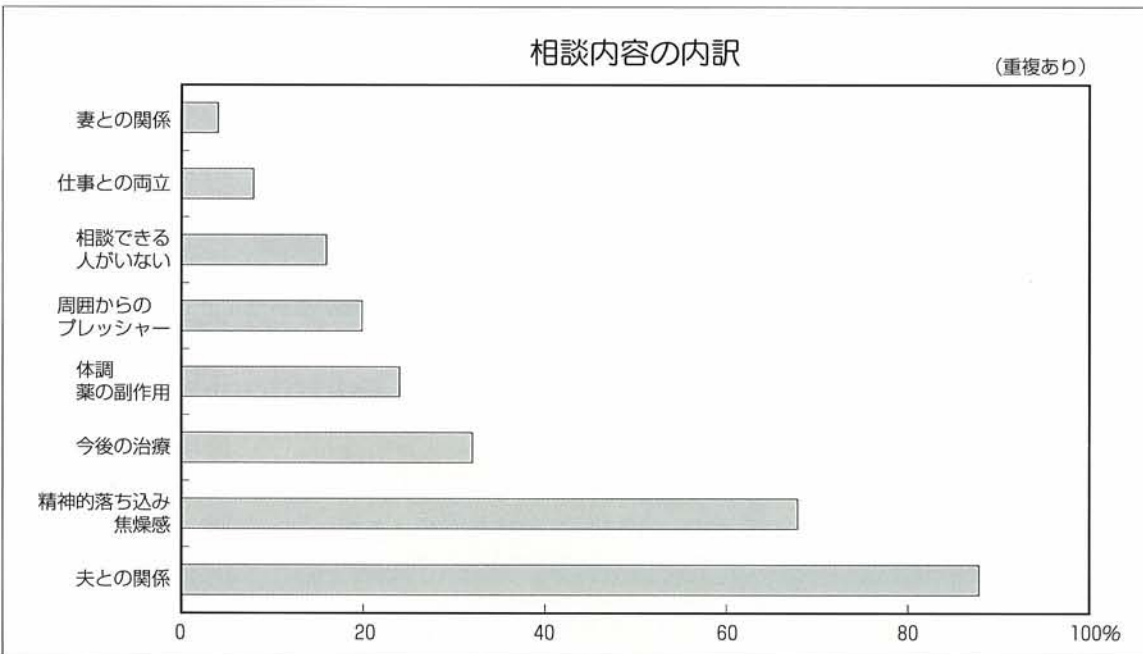
すぐに解決には結びつかないかもしれませんが、患者さん方と一緒に歩いていけたらと考えています。

相談室は毎週火曜日と土曜日の午前中です。特別な悩みはなくても誰かとお話をしたい、なんて時にもどうぞお気軽に……。

心理相談室 上野 桂子

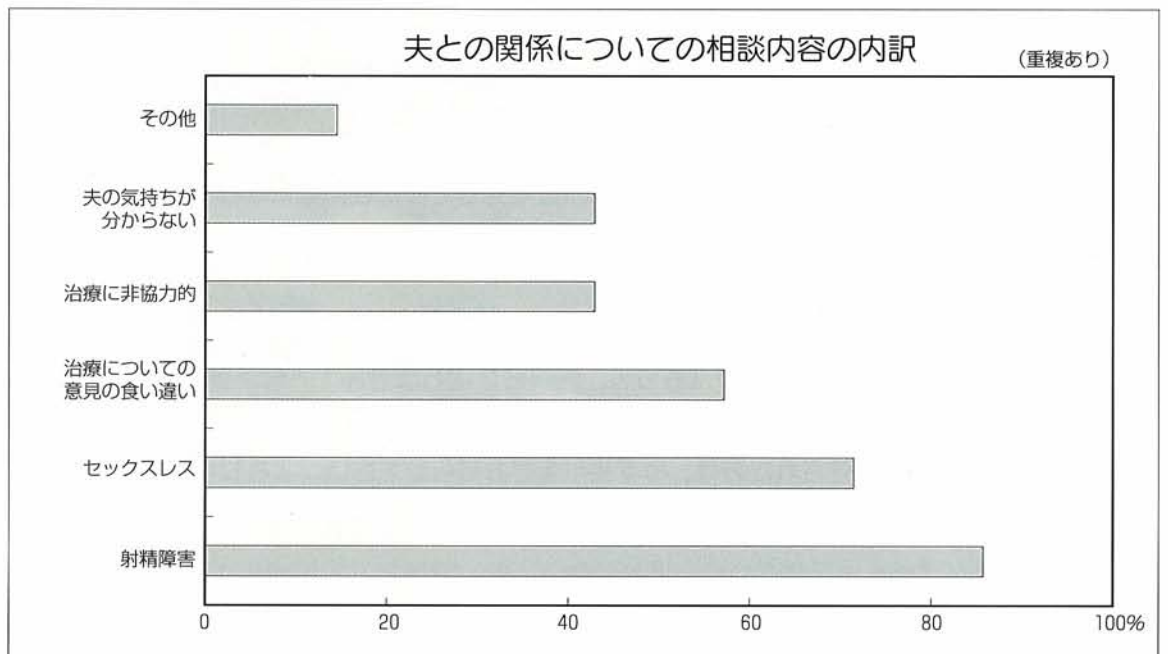
相談内容の内訳

(重複あり)



夫との関係についての相談内容の内訳

(重複あり)



＊ 看護部 だより ＊

不妊治療を通じての夫婦関係の移り変わりについての検討

当院では、今まで様々な質問紙調査を行い、その結果を基に精神的サポートに取り組んできました。現在は、新患オリエンテーションをはじめ、赤ちゃんが欲しい講座、体外受精教室、ガーネットサークルや40歳以上のオリーブの会、院長や看護師、又、心理士の上野先生による相談を随時行っています。相談がある方は、どなたでもお気軽に声を掛けてください。

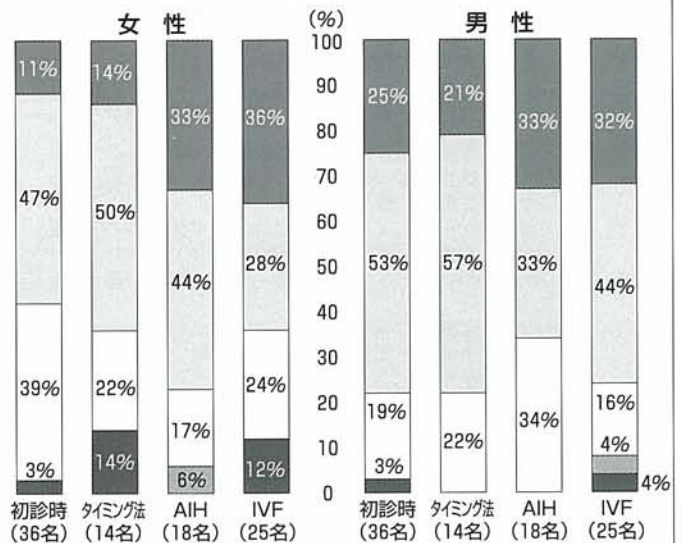
いつも、質問紙調査にご協力頂き有難うございました。

今回は、患者さんの性生活や会話など夫婦関係の変化を各治療段階に分けて調査し、春の九州不妊学会で、発表しましたので報告します。

看護部 原井 淳子

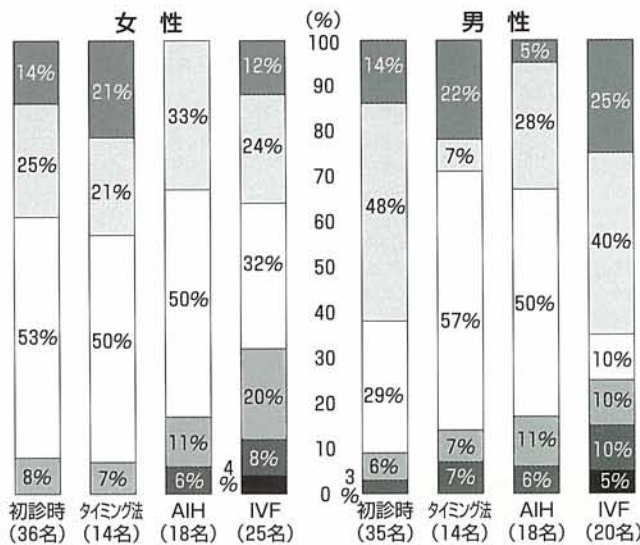
1. 夫婦間の会話に十分満足していますか？

■満足していない ■ほとんど満足していない
□少し満足している □かなり満足している ■満足している



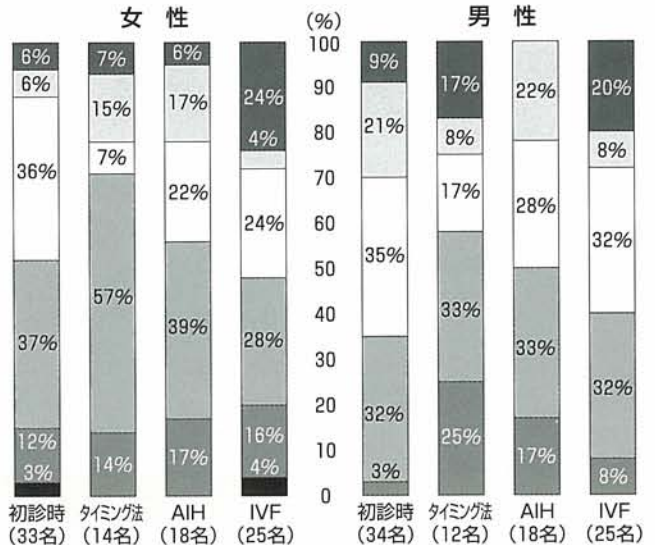
2. 性生活に満足していますか？

■全く満足していない ■ほとんど満足していない ■かなり満足している
□あまり満足していない □少し満足している ■非常に満足している



3. 治療前と治療中で性生活が変わったと思いますか？

■非常に思う ■少し思う ■全く思わない
□かなり思う □ほとんど思わない ■あまり思わない



まとめ

- 1) 各治療段階の夫婦間での会話は十分取れ、満足度は高く、満足度が低いのは、妻がタイミング法と体外受精、夫は体外受精の段階が一番低いようでした。
- 2) 性生活については治療段階が進むにつれて妻の満足度が低く、夫はタイミング法と体外受精の段階で満足度が低下する傾向が見られました。
- 3) 治療前と治療中の性生活では変わったと思っている夫婦が全段階で5割を占め、中でも、タイミング法や人工授精の夫婦に多く見られました。各治療段階において夫よりも妻の方が性生活が変わったと感じている割合が多くみられました。
- 4) 初診時から夫よりも妻の方にプレッシャーが多く感じられました。

これらの事から、初診時より夫婦同席のオリエンテーションが望ましいと思われます。

2002年を振り返って

<p>1.4 セント・ルカ産婦人科新年会(セント・ルカ多目的ホール) 1.19 第9回赤ちゃんが欲しい講座(大分・トキハ会館6Fさくらの間) 参加31人 講師<院長> 参加<佐藤順、工藤由、佐藤晶、友永、永石、品矢、原井、越名、渡邊、上野> 1.26 第58回体外受精教室 参加者29名 参加<佐藤順、工藤い、小濱、磯崎> 1.26 第3回オリブの会 参加者7名</p> <p>2.4 高度生殖医療技術研究所 所長 荒木康久先生ご来院・ご指導 2.9 第13回ガーネットサークル OG2名、参加者7名 2.13 第3回加藤レディースクリニックワークショップ2002(東京) 参加<公文></p> <p>2.23 第59回体外受精教室 参加者28名 参加<城戸、平井、大津、永石、篠田、工藤い、小濱、指山> 2.23 第4回オリブの会 参加者5名 2.26 第77回大分産科研究会(大分・大分県立病院) 発表<品矢> 参加<佐藤晶、佐藤千、城戸、篠田、松元、小濱、関、赤嶺、二宮、宿利、永石、工藤い、河口、齊高、原井、實崎、柴田、指山、院長></p> <p>3.1 新職員 中野栄子さん(看護部) 3.16 第60回体外受精教室 参加者18名 参加<佐藤順、公文、熊迫、長木、中野、永石、小濱、指山> 第5回オリブの会 参加者7名 3.23 第10回赤ちゃんが欲しい講座(大分・トキハ会館6Fさくらの間) 参加51名 講師<院長、緒方泌尿器科 緒方先生>参加<佐藤順、工藤由、梅田、佐藤晶、佐藤千、城戸、公文、大津、中野、篠田、品矢、指山、上野></p> <p>3.23 診療報酬改定講座会(大分・大分医師会館) 参加<梅田> 3.23 全国保険医団体連合会 診療報酬改定講習会(大分・大分農業会館) 参加<渡邊> 3.26 浅見先生の送別会 セント・ルカ産婦人科&メディテック・ルカ合同お花見、歓迎会(裏川公園 大分) 3.28 診療報酬改定に伴うパソコン入力(大分・アステム会議室)参加<越名></p> <p>4.6 第54回日本産婦人科学会(東京国際フォーラム) 参加<院長> 4.12 第15回大分市医師会産婦人科・内分泌・不妊・代謝懇話会(大分) 参加<佐藤順、工藤由、梅田、越名、渡邊、佐藤晶、佐藤千、友永、城戸、公文、平井、大津、長木、中野、永石、篠田、工藤い、松元、齊高、品矢、柴田、磯崎、指山、院長></p> <p>4.13 福井医科大学産婦人科学教室 教授 小辻文和先生ご来院 4.14 SarahBase山王病院納入(東京) 導入<工藤由、長木> 4.18 新SarahBase再構築着手 4.20 第3回産婦人科情報処理担当者会(三重) 参加<工藤由> 4.20 第59回日本不妊学会春季九州支部会(福岡) 発表<佐藤晶、平井、原井、上野> 参加<大津、院長> 「FISH法を用いた異常受精卵の解析」(佐藤晶子) 「Implantation windowを考慮したVitrification凍結融解の検討」(平井香里) 「不妊症夫婦の治療を通しての夫婦関係の移り変わりについての検討」(原井淳子) 「不妊症患者の悩みの現状とケアのありかた—心理相談室より—」(上野桂子)</p> <p>4.20 第61回体外受精教室 参加者32名 参加<佐藤順、友永、公文、長木、中野、工藤い、関、齊高、指山> 4.22 高度生殖医療技術研究所 所長 荒木康久先生ご来院・ご指導 4.25 不妊治療医療保険適用運動 不妊治療施行施設149施設にアンケート送付 4.27 エンブリオロジスト認定試験 受験者<城戸、公文、平井、大津、熊迫、長木> 4.27 第6回オリブの会 参加者7名</p>	<p>5.11 第14回ガーネットサークル OG2名 参加者11名 5.17 セントマザー産婦人科医院施設見学(北九州) 参加<佐藤千、熊迫、長木> 5.23 Seagaia Meeting2002(宮崎) 参加<佐藤順> 5.25 第62回体外受精教室 参加者37名 参加<油布、佐藤千、永石、中野、工藤い、小濱> 5.25 第7回オリブの会 参加者6名 5.30 哺乳動物卵子学会(和歌山) 参加<城戸、公文> 5.30 不妊治療保険適用署名運動 国会請願</p> <p>6.1 新職員 油布亜紀子さん(情報処理室) 6.8 「レット・トーク不妊!」(東京) 参加<實崎、品矢、上野> 6.15 大分内視鏡学術研究会(大分) 発表<院長> 参加<松元、宿利> 「当院におけるTCRの経験」(院長) 6.22 第63回体外受精教室 参加者 名 参加<> 6.22 第8回オリブの会 参加者 名 6.30 2002:ESHRE 18th Annual Meeting of The European Society of Human Reproduction and Embryology(ウイーン) 発表<院長> 参加<原井、磯崎、院長> 「The Efficacy of Hatching Stage Embryo Transfer in IVF-ET」(院長)</p> <p>7.6 第11回赤ちゃんが欲しい講座 7.27 生殖バイオロジーシンポジウム(東京) 参加<院長> 8.24 第9回セント・ルカセミナー懇新会(湯布院) 8.25 第9回セント・ルカセミナー(セント・ルカ多目的ホール) 講師 加藤 修 先生 <加藤レディースクリニック> 講師 高橋 克彦 先生 <広島HEARTクリニック> 講師 田中 温 先生 <セントマザー産婦人科医院> 講師 森本 義晴 先生 <IVF大阪クリニック> 講師 宮川 勇生 先生 <大分医科大学 産科婦人科 教授></p>
--	--

著書

<院長>「図説 ARTマニュアル」永井書店

論文

<院長>「A prospective trial of blastocyst culture and transfer」Hum.Reprod.(Vol.17.No7,July 2002)
「How many times should we try ART?」Hum.Reprod.(投稿中)
「The Efficacy of Hatching Stage ET」Fertil. Steril.(投稿中)
<平井香里>「不妊因子別及び年齢によるARTへの影響」産婦人科の実際 金原出版(株)(Vol.51 No.2)February,2002 掲載
「新しく開発された培養液HFF99のヒト体外受精への臨床応用」日本不妊学会誌(投稿中)
<大津英子>「Chromosome Analysis of Re-frozen Blastocysts」Journal of Assisted Reproduction and Genetics(投稿中)
<熊迫陽子>「不妊因子が卵管上皮細胞の培養に与える影響」日本不妊学会誌(投稿中)
<長木美幸>「体外受精反復無効症例に対するHatching Stage胚移植の試み」日本不妊学会誌(投稿中)
<實崎美奈>「The influence on couples treated with multifetal pregnancy reduction」Hum.Reprod.(投稿中)
「減胎手術の経験が患者夫婦に及ぼす影響」日本不妊学会誌(投稿中)
<内藤多恵>「不妊診療における臨床データ管理・統計解析について」日本不妊学会誌(Vol.47No.1 January 2002)掲載

編集後記

浅見先生のおはなしに私達は感動しました

浅見正一先生は大分ルーテル教会の牧師さまで2年前、大分の地に赴任され、幸運にも私達セント・ルカの職員はミーティングの際先生のお話を聞かせていただくという機会を院長よりいただきました。先生のお話は私達全身の細胞が息づき心が洗われるような新鮮さを感じます。生殖医療という現場で働く私達は先生のお話しに毎回、身の引き締まる思いがし、心うたれ命の崇高さを教えていただきました。先生と過ごした時間やお言葉、そして、包み込む優しさの中にも凛然とされたお姿は、決して忘れません。
浅見先生ありがとうございました。



妊娠報告件数

(2002.1.~2002.6.18)

体外受精、顕微授精等

54件

*

体外受精以外

83件

計 137件